

石川県コンクリート診断士会 活動レポート (2019年11月号)

◆ (報告)

「日本コンクリート診断士会 2019年次発表会」

(第3回保有技術発表 第7回業務体験発表)

主催：(社)日本コンクリート診断士会

共催：高知県コンクリート診断士会

- ・開催日：令和元年11月15日(金)
- ・場 所：高知県建設会館

日本コンクリート診断士会(略称 JCD)会員による年次発表会(旧：業務体験発表会)が、高知市で開催されました。今回で7回目となります。当初は東京開催でしたが、隔年毎に地区の診断士会が主管となり地方で開催されることとなり(2015年に金沢で初開催)、今年は高知県コンクリート診断士会の皆様のお世話になりました。全国各地区から合わせて67名の会員が参加し、保有技術は2題、体験発表は11題(うち1題は報文のみ)の発表でした。

石川県からは、古川会長が「塩害環境下のボックスカルバートの調査・補修設計」と題して発表し、北陸特有の事例に多くの質問がありました。なお、次回の地方開催(2021年)は、宮崎県で行いますので多くの会員の参加を希望します。

プログラム

(1) 保有技術発表

開会挨拶

林 静雄 会長 10:30~10:40

- FRID構造物診断技術「WIMO」の概要と適用実績 中西博：(株)太平洋コンサルタント 10:40~11:00
- シールテープせこたんTM及びインジェクションガンを用いた手動式低圧樹脂注入工法によるひび割れ補修施工事例 市村周二：ニチパン(株) 11:00~11:20

(2) 業務体験発表

- 交通供用下における橋梁補修工事の工夫について 浜滴 康博(高知) 11:20~11:40

昼 休 憩

11:40~13:00

- 点在する橋梁保全工事における高架橋の補修及び耐震補強等の事例紹介 北野一臣(島根) 13:00~13:20
- 塩害地域におけるプレテンション方式PC床版橋の変状事例 前田康弘(鳥取) 13:20~13:40
- PAE系PCMを用いた薄層巻立て補強の概要と施工事例 江崎勝広(大分) 13:40~14:00
- 道路トンネルの変状と判定事例 林 快宗(福井) 14:00~14:20
- 塩害環境下のボックスカルバートの調査・補修設計 古川博人(石川) 14:20~14:40

休 憩

14:40~15:00

- 飯桁橋のRC床版の劣化調査について 平塚正人(宮崎) 15:00~15:20
- 地中送電洞道に適用した電気防食工法と防食効果 大久保謙治(東京) 15:20~15:40
- コンクリート補修施工時の技術提案に対する考慮事項 伊藤裕雄(北海道) 15:40~16:00
- 浦戸大橋耐震補強工事における海上部の仮橋め切り工の施工について 富地雅奈(高知) 16:00~16:20
- RCT桁の超微粒子セメント注入における透過伝搬速度の向上 勇 秀忠(熊本) ※



◇講師派遣「コンクリート構造物の維持管理研修」

- 主催：石川県土木部監理課技術管理室、(公財)いしかわまちづくり技術センター
- 開催日
 - 令和元年 12月 11日(水) 奥能登行政センター 4階 41~43会議室
 - 令和元年 12月 13日(金) 石川県直江庁舎 4階 401~403会議室
- 講義内容
 - ①わかりやすい塩害劣化のメカニズム
 - ② 事例に基づいた、塩害の点検・調査・診断
 - ③ 塩害に対する補修・補強の考え方

例年通り、石川県土木部と(公財)いしかわまちづくり技術センター主催のコンクリート構造物の維持管理研修へ4名の講師を派遣しました。今年は「塩害」を主題とし、それぞれの講義内容について1時間程度発表しました。能登会場では32名、加賀会場では73名もの方々が参加され、活発な質疑もありました。なお、次年度は「ASR」との事です。引続き当会からサポートできるよう、本年度の反省も踏まえ継続支援致します。

講義状況

金沢会場



能登会場



◆最新情報・ニュース

◇発表者募集中「ICD事例発表会」

・開催日：令和2年2月27日（木）13：00～17：00

・場 所：金沢勤労者プラザ 1階 101 研修室

※発表時間は各人15分程度です。

コンクリート、施工、維持管理に関するどのような話題でもOKです。

（担当：古川）